

第2回
新ごみ処理施設
(熱回収施設)
建設候補地説明会

江南市・扶桑町



第1章

これまでの地元説明会の 開催状況

地元説明会の開催状況（江南市）

- 建設候補地の地元説明会を次のとおり開催

※対象世帯数は広報配布世帯数

	開催日（平成25年度）	開催地区	参加人数 / 対象世帯数
第1回	5月19日（日）	中般若区	63人/129世帯
	5月25日（土）	般若区	67人/440世帯
	6月 1日（土）	草井区	102人/698世帯
第2回	6月23日（日）	中般若区	47人/129世帯
	6月30日（日）	般若区	50人/440世帯
	7月 7日（日）	草井区	63人/698世帯
第3回	10月20日（日）	中般若区	31人/129世帯
	11月 2日（土）	般若区	38人/440世帯
	11月 4日（月）	草井区	28人/698世帯

地元説明会の開催状況（扶桑町）

- 扶桑町と連携し地元説明会を次のとおり開催

※対象世帯数は広報配布世帯数

開催日（平成25年度）	開催地区	参加人数 / 対象世帯数
7月14日（日）	小淵区	90人/270世帯
7月28日（日）	南山名区	46人/1,027世帯
7月28日（日）	山那区	38人/374世帯



第2章

施設見学会の開催状況

見学施設の概要

	名古屋市 鳴海工場	名古屋市 五条川工場	豊田市 渡刈クリーンセンター	可茂衛生施設利用組合 ささゆりクリーンパーク
稼動年月	平成21年7月稼動	平成16年7月稼動	平成19年3月稼動	平成11年4月稼動
炉形式	シャフト炉式 ガス化溶融炉	ストーカ炉＋灰溶融炉	流動床式 熱分解ガス化溶融炉	ストーカ炉＋灰溶融炉
処理能力	530t/日 (265t/日×2炉)	560t/日 (280t/日×2炉)	405t/日 (135t/日×3炉)	240t/日 (80t/日×3炉)
煙突高	80.0m	59.9m	59.0m	59.0m
特色	<ul style="list-style-type: none"> 施設の設計と建設から維持管理運営までを一体で民間事業に委ねるPFI方式を導入 	<ul style="list-style-type: none"> 五条川の河川敷に多くの柱で支えた床を造り、その上に建設 床下は洪水防止に役立つ調節池として整備 	<ul style="list-style-type: none"> 循環型社会の総合的学習が楽しくできる施設を併設 	<ul style="list-style-type: none"> 環境問題やごみ問題について、気軽に研修等ができる施設や、宿泊やガラス工芸等が体験できる施設を併設 

施設見学会の開催状況（江南市）

- 建設候補地の地元住民を対象とした施設見学会を次のとおり8回開催し、延べ117人の参加がありました

開催日（平成25年度）	見学施設	参加人数
7月 8日（月）	鳴海工場	28人
7月10日（水）	鳴海工場	18人
7月17日（水）	五条川工場	21人
7月22日（月）	五条川工場	9人
8月 8日（木）	渡刈クリーンセンター	12人
8月 9日（金）	渡刈クリーンセンター	9人
8月21日（水）	ささゆりクリーンパーク	9人
8月23日（金）	ささゆりクリーンパーク	11人

※平成25年8月15日（木）は参加者なし

施設見学会の開催状況（扶桑町）

- 建設候補地の地元住民を対象とした施設見学会を次のとおり4回開催し、延べ63人の参加がありました

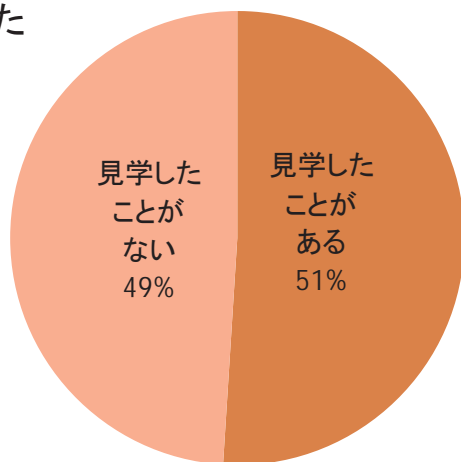
開催日（平成25年度）	見学施設	参加人数
9月13日（金）	ささゆりクリーンパーク	21人
9月17日（火）	渡刈クリーンセンター	18人
9月19日（木）	鳴海工場	15人
9月24日（火）	五条川工場	9人

施設見学会参加者アンケート結果【江南市】

■ 施設見学会に参加した延べ117人の皆さんのアンケート結果

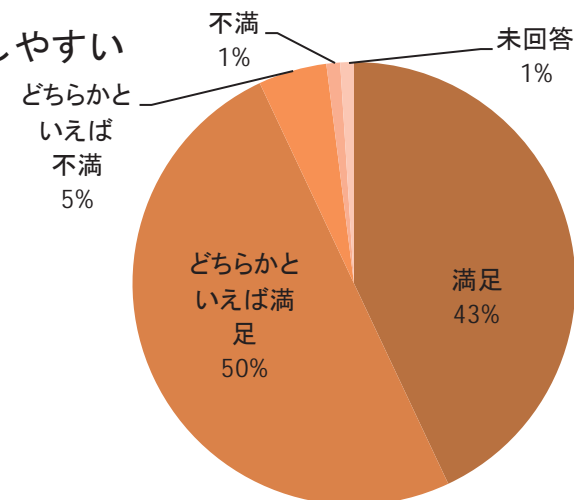
質問 1

ごみ処理施設を見学されたことはありますか



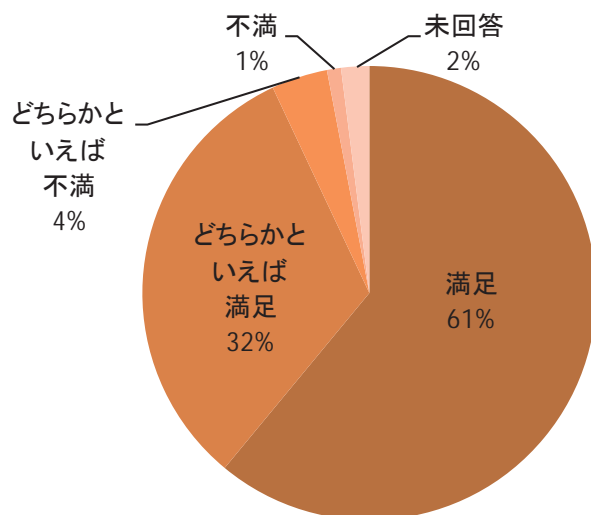
質問 2

あなたにとって参加しやすいものでしたか



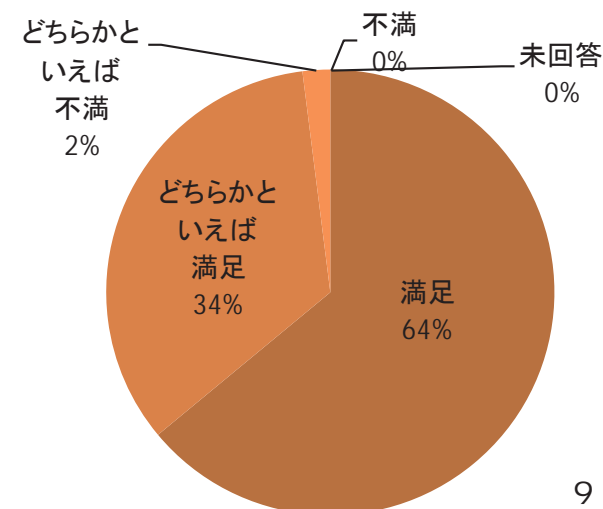
質問 3

見学内容は満足されましたか



質問 4

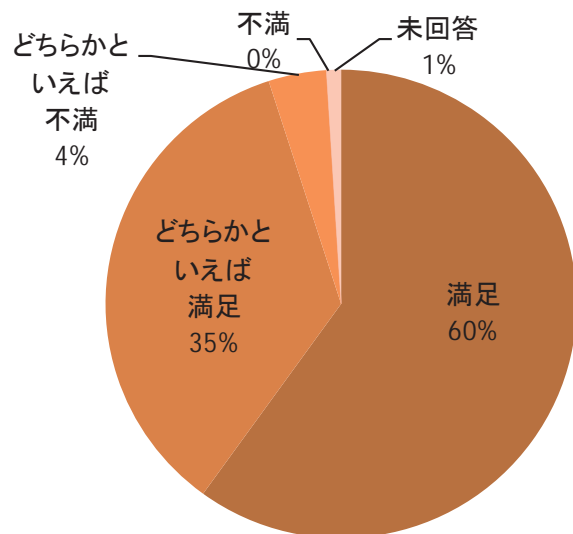
事業説明は分かりやすかったですか



施設見学会参加者アンケート結果【江南市】

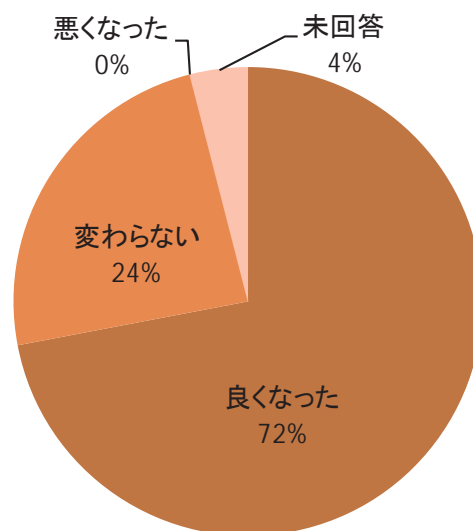
質問5

施設見学会はあなたにとって有意義でしたか



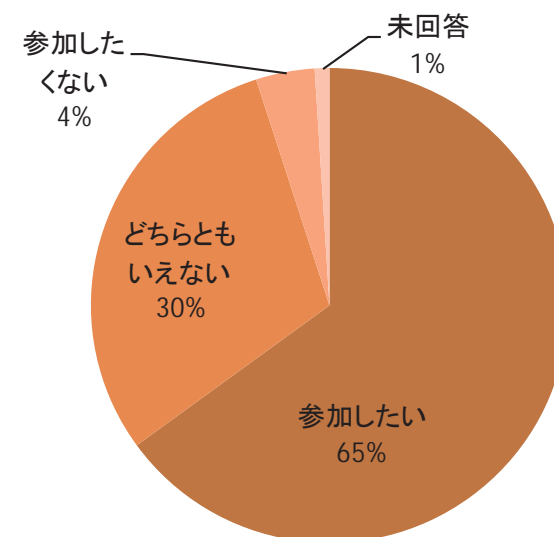
質問6

施設見学会に参加して、ごみ処理施設に対するイメージは変わりましたか



質問7

今後施設見学会が開催された場合、また参加してみたいですか



◆アンケート結果の特徴

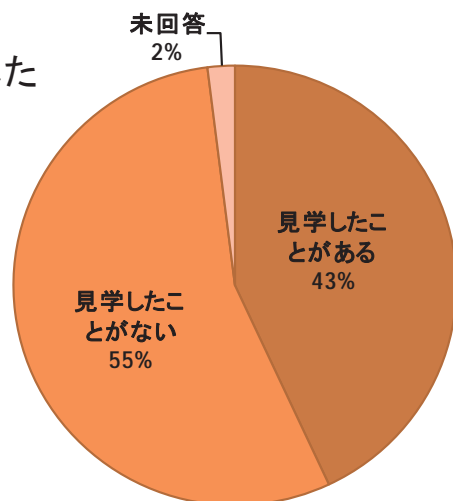
- ・ ごみ処理施設を今回初めて見学された方が半数
- ・ 見学内容は90%以上の方が満足またはどちらかといえば満足（質問3）
- ・ 施設見学会に参加した72%の方がごみ処理施設に対するイメージが良くなったと感じています（質問6）

施設見学会参加者アンケート結果【扶桑町】

■ 施設見学会に参加した延べ63人の皆さんのアンケート結果

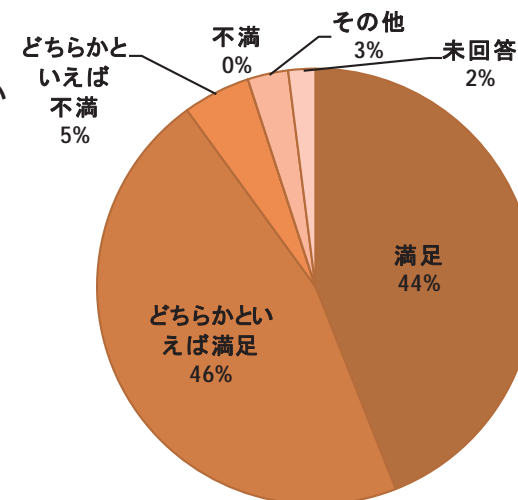
質問 1

ごみ処理施設を見学されたことはありますか



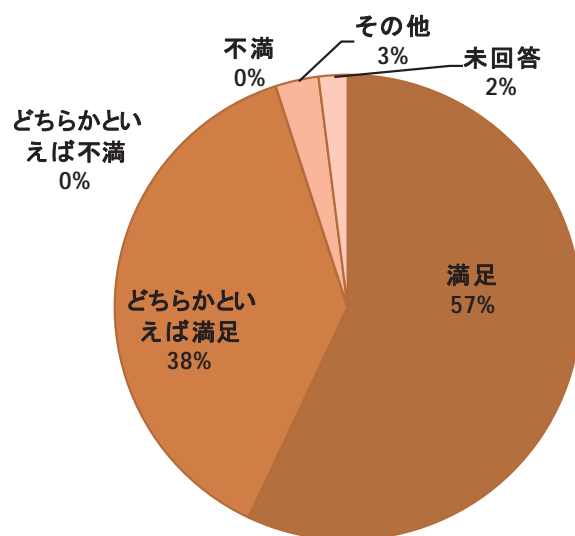
質問 2

あなたにとって参加しやすいものでしたか



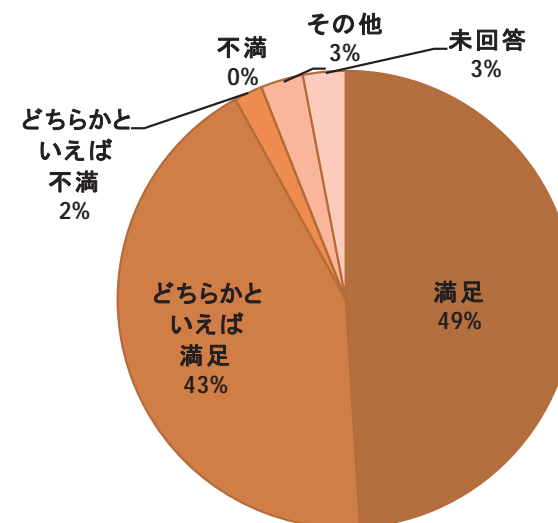
質問 3

見学内容は満足されましたか



質問 4

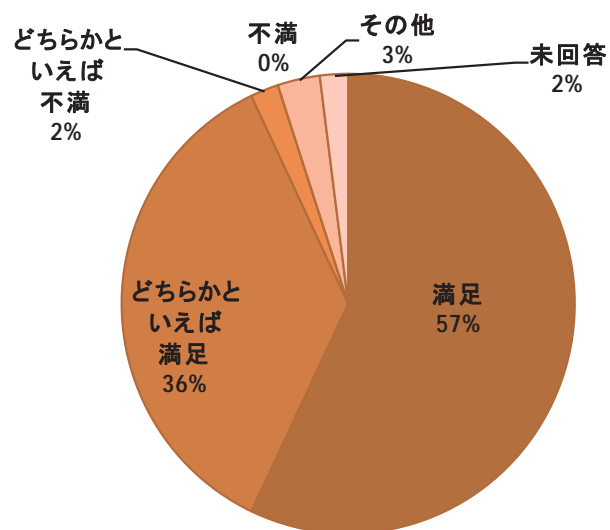
事業説明は分かりやすかったですか



施設見学会参加者アンケート結果【扶桑町】

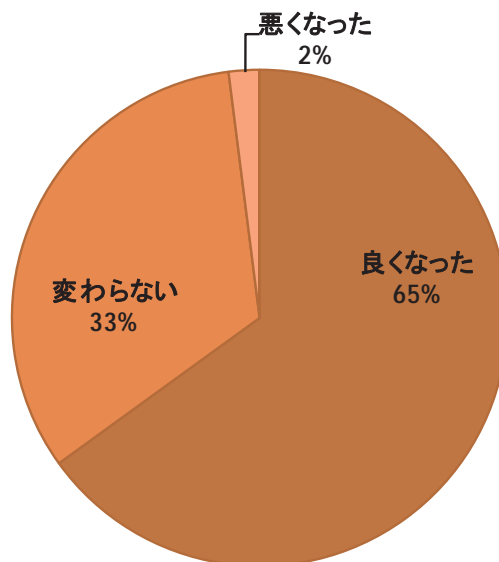
質問5

施設見学会はあなたにとって有意義でしたか



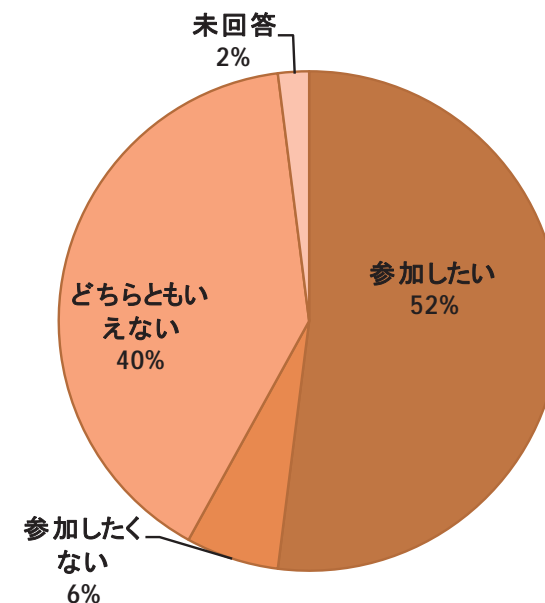
質問6

施設見学会に参加して、ごみ処理施設に対するイメージは変わりましたか



質問7

今後施設見学会が開催された場合、また参加してみたいですか



◆アンケート結果の特徴

- ・ ごみ処理施設を今回初めて見学された方が半数以上
- ・ 見学内容は90%以上の方が満足またはどちらかといえば満足 (質問3)
- ・ 施設見学会に参加した65%の方がごみ処理施設に対するイメージが良くなったと感じています (質問6)

施設見学会参加者の感想

- ・自分の目で確認し、現在の施設は素晴らしいと思いました
- ・大変清潔で、悪臭、騒音、振動もなく安心しました
- ・ごみ処理施設が環境にやさしい施設ということがわかりました。ごみを目にする場所以外は、ごみ処理施設であることが感じられませんでした
- ・生活する上で、たくさんのごみが出ます。有意義に活用、リサイクルし、環境に適した処理方法で害にならないようお願いします
- ・最近の施設はかなり進歩しているので建設について前向きに検討できる
- ・ごみ処理に対するイメージが思っていたより、かなり違っていました。施設自体が見学しやすくなっており、また説明も分かりやすかったため良く理解できた

第3章

地元説明会での質問や意見 に対する市の考え方・方針

質問1 2市2町の広域事業であるのに
どうして4首長が揃って出席しないのか

回答1

◆平成25年2月4日 第1小ブロック会議

・候補地の地元同意を得るための活動が了承

●「江南市が提案した中般若地区の建設候補地については、江南市が責任を持って、速やかに地元及び地権者の同意を得るものとする」ことから、江南市が中心となって説明会を開催



●地元同意を得るまでは江南市が責任を持って対応する

質問2 安心・安全な施設であるのに「近くの住居の少なさ」を評価するのは矛盾していないか

回答2

◆住居の多い地域に建設した場合の影響を考慮して「近くの住居の少なさ」を評価項目とした

●安全であるので市街地に建設してもよいが、その場合、次のような影響が考えられる

影 響

- ・施設建設のためのまとまった用地確保が困難
- ・市街地は地価が高く、ごみ処理施設建設経費の住民の負担が増大
- ・市街地は通常の交通量が多く、運搬効率が悪い
- ・既存の住宅があり、交通安全のための道路拡幅が困難

質問3 「近くの住居の少なさ」の中般若町北浦の 178戸には、小淵区も入っているのか

回答3

- 起点: 対角線(———)が交差する地点



中般若町北浦

◆ 候補地の中心を起点として
500m以内の住居を集計

● 候補地に一番近い小淵区の
住居であっても500m圏外で
あるため、小淵区の住居は
戸数に含まれていない

質問4 扶桑町に影響がない宮田町河沼が適している のではないか

回答4

- ◆ 江南市内の5つの候補地を基本要素・重要要素・参考要素で総合評価
- ◆ 煙突からの排ガスは安全
- ◆ 交通への影響はない
- 中般若町北浦を選定



中般若町北浦が宮田町河沼より評価結果が優れる点

- ① 県道浅井犬山線に接続している (アクセスのしやすさ)
- ② 運搬経費が中般若町は107,237千円、宮田町は139,103千円 (運搬経費の安さ)

質問5 環境アセスメントはいつ実施するのか

回答5

◆ごみ処理施設を建設するに当たっては、環境アセスメントの実施が法令で規定

●現時点では未実施

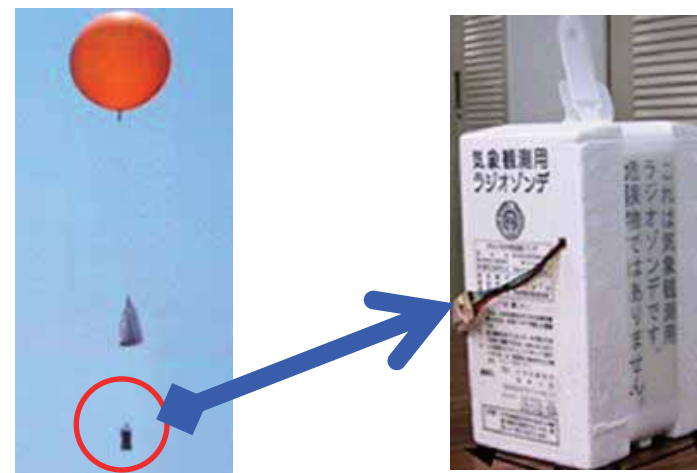
※平成25年2月4日 第1小ブロック会議決定事項

「江南市が責任をもって地元と地権者の同意を得ること」

➡ 江南市では、現在、地元同意をいただけるよう全力で取り組んでいます。環境アセスは同意が得られた後に行うこととなっています

【主な評価項目】

- ・ 環境法令（大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法）の基準値を超えないか
- ・ 施設や運搬車両による騒音・振動などの影響はないか
- ・ 建設予定地に貴重な動植物の生息・生育はないか



上空の風向、風速、気温などを測定する気象観測装置

質問6 環境アセスメントで施設が建てられないという結果が出た場合、どうするのか

回答6

◆環境アセスメントは建設の可否を目的とするものではない

●環境アセスメントは環境に与える影響を少なくするため、どのような対策を講じるべきかを検討するもの



※実施の際には方法書・準備書・評価書の公告・縦覧を行います

住民の皆様の意見を取り入れます

質問7 作物への影響を調べるため、土壌調査は定期的に実施するのか

回答7

◆江南丹羽環境管理組合の場合

- ・施設周辺の14か所で年1回土壌のダイオキシン類を調査

国の環境基準値 **1000**pg-TEQ/g

自主規制値 ※地元と約束した規制値 **250**pg-TEQ/g

※環境基準に適合し自主規制値を大きく下回る

●新施設稼動後も、これまでと同様、周辺の土壌調査を予定しています



大口町河北地内での土壌調査の様子

質問8 ごみ処理施設からのPM2.5（微小粒子状物質） は心配ないのか

回答8

◆ PM2.5（微小粒子状物質）とは

- ・ 大気中に浮遊する小さな粒子のうち、粒子の大きさが $2.5\mu\text{m}$ ($1\mu\text{m}$ （マイクロメートル） $=1\text{mm}$ の1000分の1）以下の非常に小さな粒子
- ・ PM2.5は非常に小さいため（髪の毛の太さの1/30程度）、肺の奥深くまで入りやすく、呼吸系への影響に加え、循環器系への影響が心配される
- ・ 発生源として、工場のばい煙や粉じん、自動車の排気ガス、風で舞い上がった土壌など様々なものがあり、最近では中国の黄砂や大気汚染の影響が問題となっている



PMの大きさ（人髪や海岸細砂）の比較概念図

- **ごみ処理施設からのPM2.5を含む排出ガスは
バグフィルターなどの集じん装置でしっかり除去
しているため安全なものです**

質問9 中般若町北浦地内の候補地は7haあるが、将来的にこの場所で建て替えるのか

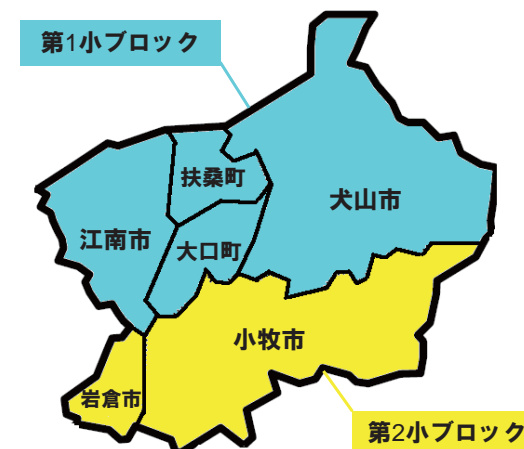
回答9

◆中般若町北浦地内の7.2haは小字全体の面積

- ・ ごみ処理施設の敷地面積は3.4ha
- ・ 工場棟の他、計量棟、管理棟、駐車場、緑地帯等が必要なたため、ある程度の広さを確保

●中般若町北浦地区で建て替えは考えていない

※次回建て替え時は小牧市と岩倉市を含めた4市2町の枠組みで検討



■ その他の意見

- ◆ 堤防に挟まれた土地のため、残された用地の活用を考えて欲しい【中般若区】
- ◆ 東海・東南海地震に備えて地震対策を万全にして欲しい【般若区】
- ◆ 余熱利用で地元経済が活性化した事例などを紹介し、地元住民の心をつかむことが必要【草井区】
- ◆ 地元がリスクを背負う以上、建設するのであればしっかりと地域振興策を行って欲しい【小淵区】
- ◆ 住民が納得するには、最新のごみ処理施設を見に行くのが一番よい【南山名区】

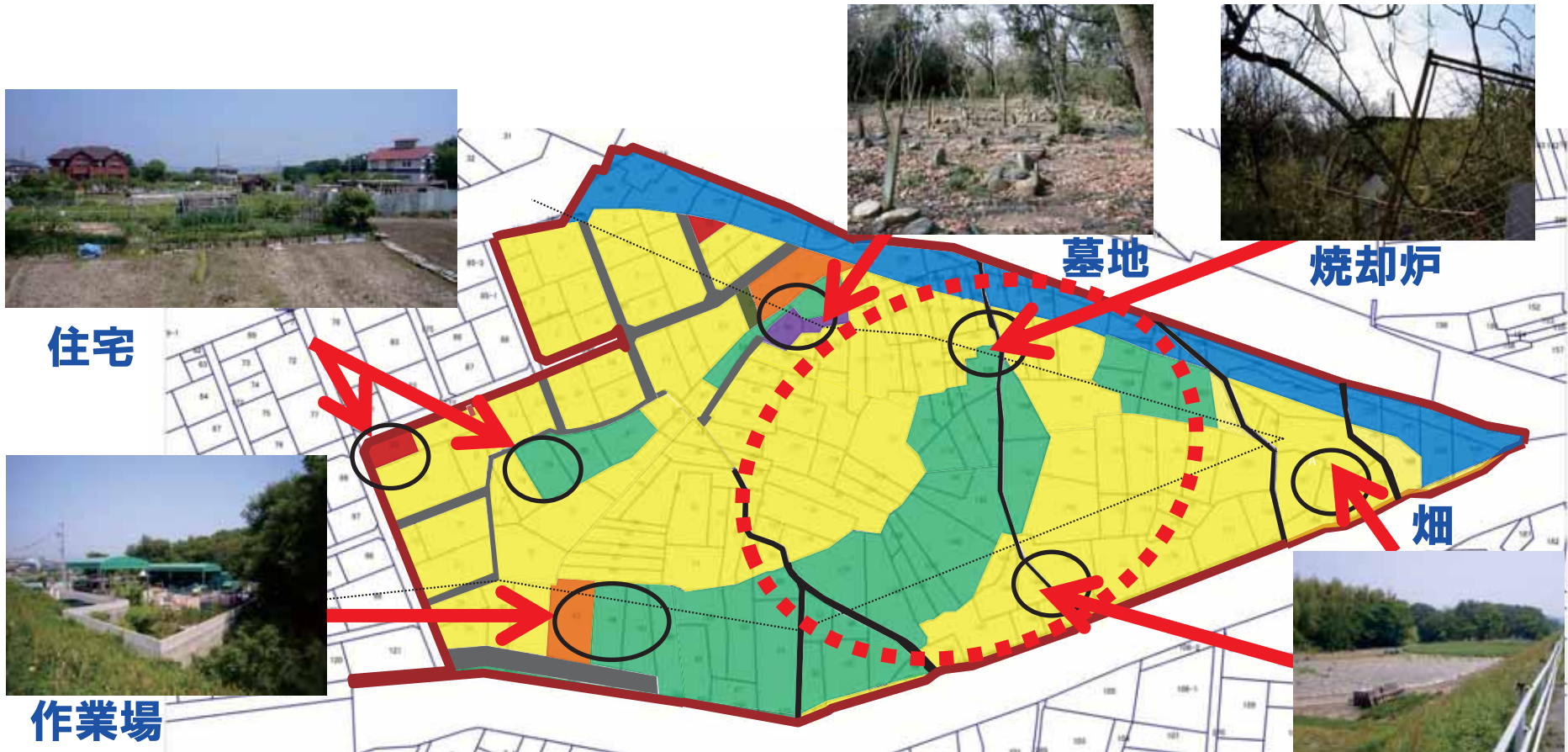
第4章

これまでの説明会を
踏まえての新ごみ処理施設の
イメージと地域振興策

新ごみ処理施設の位置及び面積



◆中般若町北浦地内全体7.2haのうち概ね中心部の3.4haを新ごみ処理施設の敷地



●工場棟・管理棟・計量棟・駐車場の他、堤防からの搬入・搬出路が必要

凡例	畑	山林	雑種地	宅地	宮田導水路	旧道
----	---	----	-----	----	-------	----

江南市の地元説明会でいただいた地域振興策のご要望



緑があふれる公園
(フラワーパーク江南)



入浴施設コミュニティプラザ萱津
(かやつ)



野球場 (小牧市民球場)



交差点改良(信号機設置)



芝生広場とデイキャンプ場
(半田運動公園)



運動場 (塩河市民運動場)



農業体験できる広場やハウス栽培施
(茨城県龍ヶ崎市農業公園 豊作村)²⁷

その他の地域振興策の例



健康増進施設



集会所



環境学習拠点
施設の整備



防災拠点（避難所）としての整備
（浜松西部清掃工場）

●その他の地域活性化のための施策の例



いちご観光農園



道の駅産直コーナー



植物工場

新ごみ処理施設及び周辺の活用方法

◆皆様のご意見をよくお伺いし、有効活用

●例えば・・・

安心安全を
確保する
緑地帯

環境教育の実践に
取り組む
環境啓発施設

いざという時の
ための
**地域の
防災拠点**

コミュニティ活動の
場を提供する
集会施設

その他の活用方法

- ◆ 地域の将来を見据え、地域の活性化のため
ごみ処理施設と一体的に、 できる限り活用
することを検討

● 例えば・・・

フラワーパーク江南73万人・
すいとぴあ江南14万人の
年間来場者数を生かした
いちご・トマト・野菜などの

体験農園

採れたて野菜を売る

産地直売所

施設からの電気や余熱、
二酸化炭素を利用した

植物工場

温室栽培

※江南市を含めた地域の活性化のため、地域活性化対策と合わせて
事業主体の検討も視野に入れ、総合的・複合的な地域づくりを進める³⁰

新ごみ処理施設と 一体となった周辺

イメージ図



すいとぴあ江南
からの来場者



14万人



いちご観光農園



緑あふれる公園

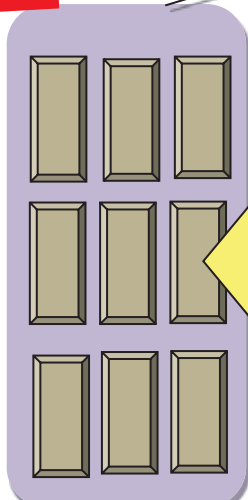


植物工場



フラワーパーク江南
からの来場者

73万人



集会施設

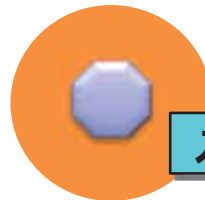
余熱供給

ごみ処理施設

ごみ発電

地域の防災拠点

入浴施設



第5章

新ごみ処理施設の規模

施設規模の検討の必要性

◆見直しの背景

さまざまな ごみ環境の変化

平成21年
度策定

- ・ 2市2町のごみ量の計画であるごみ処理広域化実施計画において推計値と実績値に差が生じている
- ・ ごみの量や種類の変化
- ・ 東日本大震災の発生
- ・ 剪定枝、草の資源化
- ・ 愛北クリーンセンターのし尿処理方法の変更

● 計画上の施設規模である236t/日を見直す必要



施設規模は平成26年度ごみ処理基本計画を見直す際に改めて検討します

施設規模の試算(参考値)

ごみ処理広域化実施計画の推計値



【計画値】

処理量
236
t/日

過去5年間のごみ量(実績値)を基にした試算値

推計値と実績値の割合、ごみの資源化等を基に試算

計画上の推計値の最大は平成32年度

【試算値】

処理量
212
t/日



今後の人口推移・ごみ減量施策・地域の事情により推計値は変動します

第6章

新ごみ処理施設の建設に向けて

皆様のご意見・ご要望にお応えするため

- 地元説明会
- 施設見学会

ご意見
ご要望

今回提示

- ① 施設のイメージ
- ② 施設規模

今後進めるにあたって
地元同意後に実施

地域振興策のご要望を
把握し、とりまとめ

施設整備検討委員会の
早期の立ち上げ

ご理解・ご協力をお願いします

ごみ処理施設はなくてはならない施設

生活する上で必要

安心安全な施設

災害時の防災拠点

地域の活性化

皆様のご意見を
しっかりお聞きし、
皆様と共に施設を
考えてまいります

地元の
同意後

地域振興策
とりまとめ

地権者へ
説明

地域の
活性化対策
の検討

ごみの減量
化・資源化
の検討

処理方式・
処理対象の
検討

余熱利用
の検討

環境アセス

施設整備検討委員会を立ち上げ

地元同意をいただくにあたって

地元の皆様
と共に

次のことをお約束します

皆様からのご要望に誠意を持って対応します


しっかりご要望を聞き、地域振興策を実施します

処理方式、余熱利用を考えます

生活環境(臭い、交通など)に影響がないよう努めます

自主規制値を設け公害防止に努めます

皆様が参加できる委員会を設置します



広域ごみ処理施設建設対策に関する 問合せ

江南市役所 生活産業部
広域ごみ処理施設建設対策室

※循環型社会形成推進のため広域的かつ総合的に廃棄物を
処理し、リサイクル施設の整備を推進します

電 話 0587-54-1111 内線443、444

F A X 0587-56-5516

Eメール gomikensetsu@city.konan.lg.jp